

# ノジコ

*Emberiza sulphurata* Temminck & Schlegel

スズメ目・ホオジロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

中池見湿地が本種の渡りコースの重要な地域であることが明らかになっているが、そのような地域は極めて限られており、生息基盤が脆弱である。

## 種の特徴

全長約 14 cm で、頭部～体上面は灰黄緑色、体下面は黄色、白いアイリングがある。雌雄ほぼ同色だが成鳥では、雄の目先が黒くなる。湿った草原の周辺の林縁や疎林に生息し、地上で昆虫類や草の種子等を食べる。

## 分 布

本州中部以北に夏鳥として渡来する。本県では秋の渡り期に確認されることが多く、中池見湿地は一大中継地となっている。奥越では繁殖期にも記録があり、繁殖の可能性はある。

## 生息を脅かす要因

本種が渡りの時期に主に利用する、ミゾソバ等の下草があるヨシ原等の高茎草地の減少が考えられる。一大中継地の中池見湿地はもちろんだが、周辺に林がある若狭町のカヤ田、三方五湖、北潟湖等の高茎草地は保全し、それらの環境で標識調査を行い、生息状況を把握する必要がある。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、日高（1996）、大西ら（2014）、中村・中村（1995）、高野（2015）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○	○	○			○	○			○	○	○

# コハクチョウ

*Cygnus columbianus* (Ord)

カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内における越冬地は限られている。また越冬期の生息には、埒となる湖沼や河川と、餌場となる二番穂が育った水田の両方が必要である。オオハクチョウより飛来数は多いが、こうした存続基盤が安定していない。

## 種の特徴

全長 132 cm、全身白色の大形の冬鳥である。嘴の先は黒く基部は黄色で、黄色部の先端の形は丸い。刈り取りの終わった水田で二番穂や水田雑草等を採餌する。浅い水中に、首を突っ込み逆立ちになって水草の茎や根を食べる。

## 分 布

1980年代以降、越冬数が増加し、中部以北や山陰に4万羽前後が渡来する。本県では北潟湖、三方五湖、日野川、九頭竜川下流等と周辺水田で、100羽前後が越冬している。

## 生息を脅かす要因

県内の越冬地には、埒となる湖沼もしくは河川と、周辺の湛水水田と二番穂水田がセットで存在している。三方五湖では、周辺の水田で冬期湛水を始めたところ本種の越冬が始まった。冬期湛水と秋耕作をしない二番穂水田を組み合わせた環境の維持が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、環境省生物多様性センター（2013）、中村・中村（1995）、渡辺（2010）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○						○	○	○	○	○		○

# オオハクチョウ

*Cygnus cygnus* (Linnaeus)

カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県への飛来は断続的で、個体数も数羽までである。また越冬期を通して、同一場所で継続的に確認された記録はさらに少ない。埒となる湖沼や河川と、餌場となる二番穂水田の両方が越冬期の生息には必要であるため、生息環境が脆弱で存続基盤が安定していない。

## 種の特徴

全長 140 cm、全身白色の大形の冬鳥で、コハクチョウよりやや大きく、頸も長い。嘴の先は黒く基部は黄色で、黄色部の先端の形は尖っている。刈り取り後の水田で二番穂や水田雑草等を採餌するが、コハクチョウよりも湖沼や河川の抽水植物を好む。

## 分 布

国内の主な越冬地は北海道と東北で、1980年代以降、国内の越冬数が増加し3万羽前後が渡来する。本県では九頭竜川、足羽川、日野川、大堤、三方五湖等で記録されている。

## 生息を脅かす要因

三方五湖の周辺の水田で冬期湛水を始めたところ、まずコハクチョウが越冬を始め、2012～2014年度には連続してオオハクチョウも越冬した。また本種は三方湖のマコモを好んで採餌したことから、湖岸の水草帯の保全も重要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、環境省生物多様性センター（2013）、中村・中村（1995）、神山（2010）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○							○			○	○		○